

- 問1 日本の都市制度において、人口が50万人以上であり、政府の指定を受けることで都道府県が持つ権限の多くを行使できるようになった都市があります。この都市において、行政運営の効率化や住民サービスの向上のために市域内に設置される組織として正しいものはどれですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|------------------------|---------------------|------------------------|
| 1. 東京都のみに認められる「特別区」 | 2. 周辺自治体と共同で運営する「広域連合」 | 3. 市役所の権限を分担する「行政区」 | 4. 議会を持たず事務のみを行う「中核支所」 |
|---------------------|------------------------|---------------------|------------------------|
- 問2 再生可能エネルギーの一つである「バイオマス発電」の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 木くずや家畜の糞尿、生ごみなどの生物資源を燃焼させたりガス化させたりして発電する方式 | 2. マグマの熱を利用して地下深層から取り出した蒸気や熱水によって電力を得る方式 | 3. ウランなどの鉱物資源が核分裂する際に発生する熱を利用して蒸気でタービンを回す方式 | 4. 石油や石炭、天然ガスを燃焼させた際の熱を利用して大量の電力を安定的に供給する方式 |
|---|--|---|---|
- 問3 日本の食生活の変化と食料自給率の関係について、小麦を例に挙げた説明として、背景や理由を含んだ適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日本独自の気候が小麦栽培に全く適しておらず、歴史的に一度も国内で栽培されたことがないため、現在も輸入に依存している。 | 2. 食生活が変化して小麦の消費量が急激に減少したため、国内の農家が小麦を作らなくなり、結果として自給率が低下した。 | 3. 食生活の欧米化にともないパンや麺類の消費が増えたが、国内産は生産条件や価格の面で外国産に対抗しにくく、輸入依存度が高まった。 | 4. 国内の農地がすべて野菜や果実の栽培に転換されたため、小麦を生産する余裕がなくなり、政府の方針で全量を輸入することに決めた。 |
|---|--|---|--|
- 問4 2014年から2023年までの訪日外国人旅行者に関する統計データから読み取れる、国内での消費動向の特徴として正しいものはどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 2023年の訪日外国人旅行者数は2019年の実績を大幅に上回り、旅行者数と国内旅行消費額の双方が過去最高を更新した。 | 2. 国内旅行消費額は2019年に最高値を記録したあと減少に転じており、2023年には調査期間中で最も低い水準となった。 | 3. 2023年の訪日外国人旅行者数は2019年の約3188万人を超えていないが、国内旅行消費額は約5.3兆円に達し過去最高を記録した。 | 4. 2014年から2023年まで旅行者数は一貫して増加しており、国内旅行消費額も旅行者数に比例して推移している。 |
|---|--|--|---|
- 問5 日本、アメリカ合衆国、中国、インドの統計データにおいて、日本の年齢別人口構成を分析すると、0～14歳の割合が低下し続ける一方で、65歳以上の人口が3,000万人を超える状況にあります。このような人口構成の変化を表す言葉と、社会に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 人口爆発が起こることで、都市部での住宅不足や食料不足が深刻化し、スラムが形成される原因となる。 | 2. 少子高齢化が進むことで、働く世代(生産年齢人口)が減少し、社会保障制度の維持が大きな課題となる。 | 3. ドーナツ化現象が加速することで、都心部の人口が極端に減少し、夜間の治安維持が困難になる。 | 4. ベビーブームが再来することで、労働力が過剰に供給され、若年層の失業率が上昇する要因となる。 |
|--|---|---|--|
- 問6 茨城県や千葉県などの統計において、東京都などの人口が集中する地域への野菜の出荷額が高い傾向にあります。このように、大消費地の近くであることを生かし、新鮮さが求められる農産物を低い輸送コストで供給する農業の名称として適切なものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 近郊農業 | 2. 促成栽培 | 3. 抑制栽培 | 4. 施設園芸農業 |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問7 1970年から2010年にかけての日本とアメリカの自動車産業に関する統計では、日本からの自動車輸出額が1980年代半ばをピークに減少する一方で、日本企業によるアメリカ国内での生産台数が一貫して増加する傾向が見られます。このような変化が起きた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. アメリカ国内で日本車が全く売れなくなり、日本政府が輸出を禁止する措置をとったため。 | 2. 貿易摩擦の緩和とともに、消費地に近い場所で生産することで市場のニーズに素早く対応しようとしたため。 | 3. 円安が急速に進んだことで日本からの輸出コストが増大し、採算が取れなくなったため。 | 4. 日本の自動車メーカーがアメリカの企業に買収され、すべての生産拠点がアメリカに移転したため。 |
|--|--|---|--|
- 問8 静岡県や愛媛県などの温暖な地域において、日当たりのよい山の斜面を利用して盛んに行われている果樹栽培として、最も適当なものを選びなさい。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------------|-----------|-----------|
| 1. ぶどうの栽培 | 2. おうとう(さくらんぼ)の栽培 | 3. みかんの栽培 | 4. りんごの栽培 |
|-----------|-------------------|-----------|-----------|
- 問9 成田国際空港や関西国際空港の貿易統計を確認すると、輸出額の上位に集積回路(IC)などの電子部品がランクインしています。このように、集積回路が船舶ではなく航空機による輸送に適している理由として、最も適切な説明を選択してください。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 製品の重量に対して価格が非常に高く、スピードが重視される高付加価値の商品であるため | 2. 製品のサイズが非常に大きく重量があるため、船舶の積載スペースを確保するのが困難なため | 3. 日本の法律により、半導体製品の輸出は安全保障上の理由から空路のみに制限されているため | 4. 海水や潮風に触れると回路が腐食し、製品としての機能を完全に失ってしまうため |
|--|---|---|--|
- 問10 情報通信業の売上高が大きな値を示す地域と、鉄道による旅客輸送量が多い地域に共通する地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 豊かな水資源と急峻な地形を利用した発電施設が多く、エネルギー供給を担っている。 | 2. 人口や企業が高度に集中しており、サービス業を中心とした経済活動が極めて活発である。 | 3. 広大な平野部を活用して大規模な機械化農業が行われ、食料供給の拠点となっている。 | 4. 広大な工業用地と港湾が整備されており、原材料を輸入に頼る重化学工業が発達している。 |
|--|--|--|--|
- 問11 日本の農産物生産に関する次の記述のうち、収穫量が全国1位である都道府県とその自然条件の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 豚の飼育頭数が日本一の鹿児島県は、北海道のような広大な泥炭地を活用している。 | 2. ぶどうの収穫量が日本一の山梨県は、降水量の多い平坦な低湿地を活用している。 | 3. 米の収穫量が日本一の新潟県は、信濃川などの豊かな水資源と広大な平野を活用している。 | 4. 茶の生産量が日本一の静岡県は、冬の寒さが厳しい東北地方の気候を活用している。 |
|---|--|--|---|
- 問12 日本の貿易において、航空機を利用した輸出が積極的に行われている品目の特徴とその代表的な製品の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|---------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 小型で軽量かつ高価な製品 — 半導体などの電子部品 | 2. 重量があり安価な資源 — 鉄鉱石 | 3. 大型で重量があり高価な製品 — 自動車 | 4. 保存が利き大量輸送が必要な食料 — 小麦 |
|------------------------------|---------------------|------------------------|-------------------------|